

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年4月4日

事業所名 パンビ多の津

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である			職員が全体を把握しやすい広い空間となっている。	
	2	職員の配置数は適切である	4		保育士、児童指導員、看護師等の有資格者を配置している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4		バリアフリー、手すり等の設備がされている。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4		職員が全体で取り組んでいる。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4			評価表で頂いた意見を元に、療育、支援内容の改善に取り組んでいる。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4		HPIにて公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		4		第三者評価は未実施の為、今後検討していきたい。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4		年間を通して、オンラインや動画を利用し研修を行っている。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4		保護者意向を確認し、職員カンファレンスを行いサービス計画を作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4		共通のアセスメントシートを使用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4		職員で話し合いをしている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4		季節感を取り入れたプログラムを行っている。	それぞれの児童の特性や、状態に合わせた活動を増やしていきたい。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	1	平日と休日で活動内容が違う為、それぞれで課題を設定している。	長期休暇中の課題をより細やかに設定していきたい。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4		個々の状況を見ながら計画を作成している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4		職員全員で情報共有、確認を行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4		送迎終了後、振り返り、報告を行っている。	終了後だけでなく、気付いた点などはその都度 共有するようにしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4		毎日、一人一人の支援内容を記録し支援の改善等につなげている。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4		年に2回モニタリングを行い、サービス計画の見直しを判断している。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	3	1	基本活動に基き自立、創作活動、余暇の提供に力を入れている。	地域交流の機会の提供に関しては、コロナ禍もあり行えていないが、今後感染状況を見ながら検討していきたい。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4		医療的ケア児には看護師等、ふさわしいものが出席している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4		主に時間割のプリント、保護者の方からの連絡にて調整を行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4		医師の指示書を頂き、緊急時は連絡が取れるよう保護者の了解を得ている。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4		保護者を通じて情報提供をして頂いている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4		依頼があれば行っている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		4		コロナ禍以降、行えていない。今後は検討していきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		4		コロナ禍以降、行えていない。今後は検討していきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		送迎時や、連絡帳等で共通理解を持てるよう努めている。	担当者会議やモニタリングの際にも、小さな事でもお伝え出来るよう努めている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		4		行なえていないが、ご希望等も伺いながら、検討していきたい。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4		契約時に説明を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4		相談があれば、電話等でお話ししている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		4		保護者のご希望を伺いながら、検討していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している		4		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		4		日々の活動はアプリで写真等で様子を伝えている。HPのブログでも発信している。
	35	個人情報に十分注意している		4		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている		4		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		4		地域住民の招待は行えていない。今後は利用者様のご希望等伺いながら行って行きたい。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4			マニュアルの内容は、保護者に対しては周知できていない為、保護者への周知の機会を作りたい。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4		毎年、職員、児童参加で、火災、水害時の避難訓練を行っている。	
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4		チェックリストを活用しながら事業所内で研修を行っている。	
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4		やむを得ず必要な場合には個々で、保護者と話し計画に記載している。	
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4			
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4			